

よみよみ通信 9月号

令和4年9月1日

長山中学校図書館司書 池田 由美子



夏休みが終わり、少しだけ秋の気配です。

秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる

この歌は、平安時代の歌人藤原敏行のもので、意味は「秋がきたとははっきりと目にはできないが、風の音を聞くと秋だなあと知らされる」というものです。

今年の夏は、梅雨明けも異例の早さで暑い日が続きました。しかし、吹いてくる風を感じてみると、秋を感じるかもしれませんね。

もうすぐ体育祭。そうはいつても暑い日が続きそうです。水分補給を忘れずに熱中症対策をしっかりして取り組んでください。



おすすめの本

絵で見る ある町の歴史

この本を読むと、ある町の誕生から現在までを時代順にたどることができます。始まりは石器時代、川のほとりの小さな集落。そして同じ土地が、1万年以上の歳月のあいだに大きく変化し、いまではにぎやかな都会の中心に。

この美しい歴史絵本では、キーとなる14の時代を取り上げています。壮麗な建築物が建てられては崩れ去り、古代の神殿の跡に新しい教会が建ち、木橋は石橋に変えられていきます。

タイムトラベラーになって楽しめます。

スポーツの秋特集

図書室で9月中、スポーツの秋特集として、スポーツ界で活躍した人たちの本を展示します。

毎日のように活躍が報道される二刀流世界の太谷翔平。66年ぶり2大会連続の金メダルに輝いた羽生結弦。世界ランキング最高5位にまで昇りつめた錦織圭。サッカー界のレジェンド、三浦知良。長山中の先輩である元稀勢の里。なでしこジャパン・・・などなど。

輝かしい活躍の陰にあるもの。彼らを高みへ導いた信念。この機会に触れてみてください。

